

「今後の町田市立図書館のあり方について（答申）」（概要）

▶ 諮問内容

「今後の町田市立図書館のあり方について」

- ①図書館の目指すべき姿について
- ②再編を進めるうえでの留意点について



▶ 答申の構成及び概要

1 諮問までの経過（本文2ページ）

少子高齢化や人口減少、公共施設の老朽化などの町田市の状況、行政経営改革プランや公共施設等総合管理計画に基づく取組内容など、図書館を取り巻く状況について整理しています。

2 図書館の現状（本文3～6ページ）

施設概要、利用状況、運営経費、公共施設再編計画での再編の方向性など、町田市立図書館の概要についてまとめています。

3 今後の町田市立図書館の目指すべき姿（本文7～8ページ）

町田市立図書館が今後目指すべき姿を以下の4点に整理しています。

（1）あらゆる市民が利用しやすい図書館

- ◆世代や居住地、生活スタイルにかかわらず、あらゆる市民にとって身近で利用しやすい図書館サービスを実現する。
- ◆地域の情報拠点として、魅力ある蔵書や資料を収集・提供していくとともに、市民一人ひとりが必要な情報を容易に得られるよう、きめ細やかな支援を行う。

（2）子どもの読書活動の充実につながる環境整備

- ◆未来の町田をつくる子ども達の読書習慣を育むため、学校や学校図書館等との連携を強化し、子どもが魅力的な本とめぐり合える環境を整備する。
- ◆読書活動を推進する団体・ボランティア等との連携・協力により、読書の魅力を感じることができる機会を充実する。

（3）地域のコミュニティ形成を支援する図書館

- ◆地域で読書活動を推進する団体やボランティアの活動を支援することを通じ、本や読書活動をきっかけとした人と人、人と団体とのつながりを築く。
- ◆地域コミュニティの形成支援を通じ、地域の課題解決、地域の発展に寄与する。

（4）地域の課題や社会状況の変化に対応した運営

- ◆その時々々の社会状況や地域の課題に対応するよう運営やサービスの手法を絶えず見直す。
- ◆外国人居住者の増加に対応した運営、電子書籍市場の拡大、教育現場でのICT導入などの動向を踏まえた新たなサービスを展開する。

4 再編を進めるうえでの留意点 (本文9～10ページ)

行政経営改革プラン及び公共施設再編計画に基づく施設再編を進めるにあたっての留意点を以下の5点に整理しています。

(1) サービス利用に格差が生じることのない再編の検討

住む地域や年齢、生活スタイルなどによって、利用できる図書サービスに格差が生じることのない施設再編を検討する必要がある。

(2) 図書館がもつ機能や役割の維持

学びの拠点、コミュニティ形成など、図書館がもつ図書貸出以外の機能や役割についても維持していくための検討が必要である。

(3) 新たな利用者の獲得につながる再編の検討

利用者の生活実態や市民ニーズを踏まえたサービス拠点等の見直しを進めるとともに、他施設での本の貸出コーナー設置など、新たな利用者の獲得に向けた再編のあり方についての検討が必要である。

(4) コミュニティの核となる地域住民や利用者との対話

施設の再編を行う場合には、施設の利用者や近隣住民と対話の機会をもち、意向を確認したうえで代替機能について検討していく必要がある。

(5) 運営体制検討の視点

運営体制の検討にあたっては、経費の視点だけでなく、図書館がもつ公共的な役割を維持し、かつ多様化する市民のニーズに应运えていくために最適な体制を選択することが重要である。運営形態については、無料の原則など、図書館の特徴を踏まえたうえで様々な手法のメリット・デメリットの詳細な分析を行い、町田市状況に応じた独自の運営体制を検討していく必要がある。

